

今回のテーマは「韓国の政治」です。このテーマについて現在日本にお住まいで早稲田大学法学部の学生である朴(パク)さんと、韓国の大学を卒業し日本のIT企業で働いているイさんのお二方に6月にインタビューしました。

韓国の人は日本をどう思っているの？これからの日韓関係は？韓国の兵役ってどんなもの？... などのたくさんの質問に答えていただきました。この新聞をきっかけに皆さんが韓国に興味を持って、日本と韓国のこれからの関わり方にも関心を寄せて頂けたらと思います。

【韓国の基本情報】

・面積:約100平方キロメートル 日本約4分の1 ・人口:5163万人

【韓国の政治制度】・民主主義・憲政体制・三権分立

大統領制

- ・大統領は国民の直接選挙で選ばれる。
- ・任期は5年で再選はなし。(一期のみ)
- ・40歳以上でないと立候補できない。

大統領は国民の直接選挙で選ばれる。
選挙権は18歳から。

【尹錫悦新大統領について】

朴さん

日韓関係の改善には期待できる。

日韓関係

反日教育はしていない。
ただ、韓国植民地時代についての歴史の教科書の記述量が、日本と韓国では大きく違う。
この認識の差をどれだけ縮められるかが日韓関係のキーにもなる。

👉 韓国の人全員が日本に批判的なわけではない。世代によって違いがあり、若者は日本が好き人が多い。

👉 北朝鮮との関係が悪化しても、韓国国内の人々には影響はほとんどない。北朝鮮がミサイルを打っても、日本で小さい地震が起きると同じような感覚である。それだけ慣れてしまっているということ。

イさん

前の大統領はあまり日韓関係を改善してもらえなかったので新大統領には改善してもらいたい。
北朝鮮との関係は悪くなるのでは、個人的に北朝鮮と統一するべきだと思っているが、今の大統領では無理そう。

- 👉 政治家が日本を攻撃することによって人気を得ようとすることは確かにある。
- 👉 日韓関係が悪いことによる韓国での影響は色々ある。例えば、日本のものの価格が韓国で変動するなど。
- 👉 韓国と北朝鮮が統一されれば、人口減少や出生率低下の問題が解決されるかもしれない。

【日本との政治の関心度の違い】

朴さん

地元の友人とはよく政治話をする。韓国では、大統領候補者が芸能番組に出演するなど、政治がエンタメ化していて面白い。

戦後GHQの介入により比較的簡単に民主主義を手に入れた日本と、民主主義を自分達で勝ち取った韓国とでは「権利」への意識の違いがありそう。

日本はいい意味でも悪い意味でも平和で、政治に関心がなくても生きていける。これが投票率の違いにも関係がありそう。

👉 韓国では1980年5月前後に光州民主化運動(市民と韓国軍の衝突)が起こった。複数の動画配信サイトで配信されている「タクシー運転手」という映画に韓国の歴史が詳しくえがかれている。

朴さん

韓国では投票用紙に押す判子を手の甲などに押して写真を撮り(認証ショット)、それをSNSにあげる。

☆今年3月の大統領選挙の全体の投票率は77.1%。20代、30代の投票率はそれぞれ65.3%、69.3%となっている。
☆7月の日本の参議院選挙の全体の投票率は52.1%、18歳と19歳の投票率は34.5%だった。

イさん

日本の人は自分の仕事に手一杯で、政治にあまり興味がなくてびっくりした。会社でも政治話をしている人がいなかった。日本の人は自分の生活のために頑張っているという印象を受けた。

【兵役について】

韓国では19歳になる年に兵役判定の検査を受ける。高校を卒業した男子が招集対象になるが、障害や疾病のある場合などは兵役を免除されることがある。兵役は1年半程度で、一生のうちに一度入隊すればよいが、除隊後も8年間は予備役で年に一度2泊3日ほどの訓練をして、40歳までは服役義務がある。

朴さん

銃や手榴弾を使用したり作戦を立てたりといった訓練をする。配置される場所によっては事務仕事をすることもある。やっていることは日本の自衛隊とほとんど変わらない。しかし韓国では軍隊を持つことが認められており日本とは目的が違う。

- 👉 アメリカが募兵制を採用しているにもかかわらず世界一の軍勢力を誇るの武器の発達によるもの。
- 👉 武器が発達すれば兵士の数は減るかもしれない。

イさん

兵役に行きたくて行く人はいないのではないかなと思う。
兵役のいいところは、一緒に暮らすうちに互いが頼りになる存在になって、軍隊が終わっても関係が続くような親友が得られることだと思う。

兵役に行けないことは不幸なことだと考える人もいて兵役に行かなかった人への差別みたいなものはある。人々にとって兵役はみんなが行くべきものという意識がある。

最近BTSが韓国に利益をもたらしたから兵役免除という話があったが、それに対しても韓国の男性は少し反対している。韓国のために芸能人になり、国の支持を上げるためにお金を稼いだと言えるなら免除は認められると思うが、自分たちのために頑張ったわけだから認められないのでは。



今回、朴さんとイさんには新聞に載せることができないほど多くの質問に答えていただきました。どれも興味深い内容だったので、こちらのQRコードに新聞に載せきれなかったインタビューの内容を載せました。

こちらは日本と韓国の文化についての内容が中心となっています。韓国文化の世界的流行の要因や、韓国国内での日本文化の規制についての記事を載せました。ぜひ、このQRコードを読み取って記事を読み、韓国の文化面についても興味を持って頂けたらうれしいです。

～編集後記～

今回インタビューをして、韓国は日本の隣の国なのに私たちは韓国についてほとんど知識がなかったことに気が付きました。さらにこの新聞制作を通して、韓国だけでなくほかの国についても興味を持って知っていくのと同時に、自分の国についても知ることが大切だと思います。今回インタビューを受けてくださったお二人は韓国のことについて質問をすると、すぐに答えてくださいました。私たちが日本について同じ質問をされても、すぐに答えることはできないと思います。互いの国の文化や歴史まで理解しようとする人が増えたら、国際関係は少しずつよくなっていくと思います。

THE WORLD TIMES 特別号

国際交流委員会からお知らせです。

今回の WORLD TIMES 特別号 のテーマは「韓国の政治」です。このテーマについて日本で暮らしている韓国人の朴(パク)さんとイさんのお二方にインタビューさせていただきました。

韓国の人は日本をどう思っているのか、これからの日韓関係はどうなるのか、韓国の兵役とはどんなものなのかなど、たくさんの質問に答えていただきました。この新聞を読めば、韓国のことだけではなく日本のことも見えてくると思います。

例えば、日本の課題の一つである若者の投票率の低さ。韓国では一人ひとりが政治に関心を持ち、自分たちの国は自分たちで作っていこうという意識がうかがえます。これには歴史的背景も関わっているようです。

他にも、韓国の人は日本をどう思っているのか、これからの日韓関係はどうなるのか、韓国の兵役とはどのようなものなのか、などのたくさんの質問に答えていただきました。QRコードには、新聞に載せきれなかった韓国と日本の文化についての内容を載せました。この新聞をきっかけに韓国に興味を持っていただくとともに、日本と韓国のこれからの関わり方に関心を寄せて頂けたらうれしいです。

国際交流委員がショートホームルームで読み上げてください。委員がいない場合はお手数ですが、週番の方が上記の文を読み上げてください。ご協力をお願いします。